

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 姫路市立中央体育館 Lコート

試合区分: No. 115 成年男子 決勝

期 日: 2006(H18)年10月4日(水)

主審: 宇田川 貴生

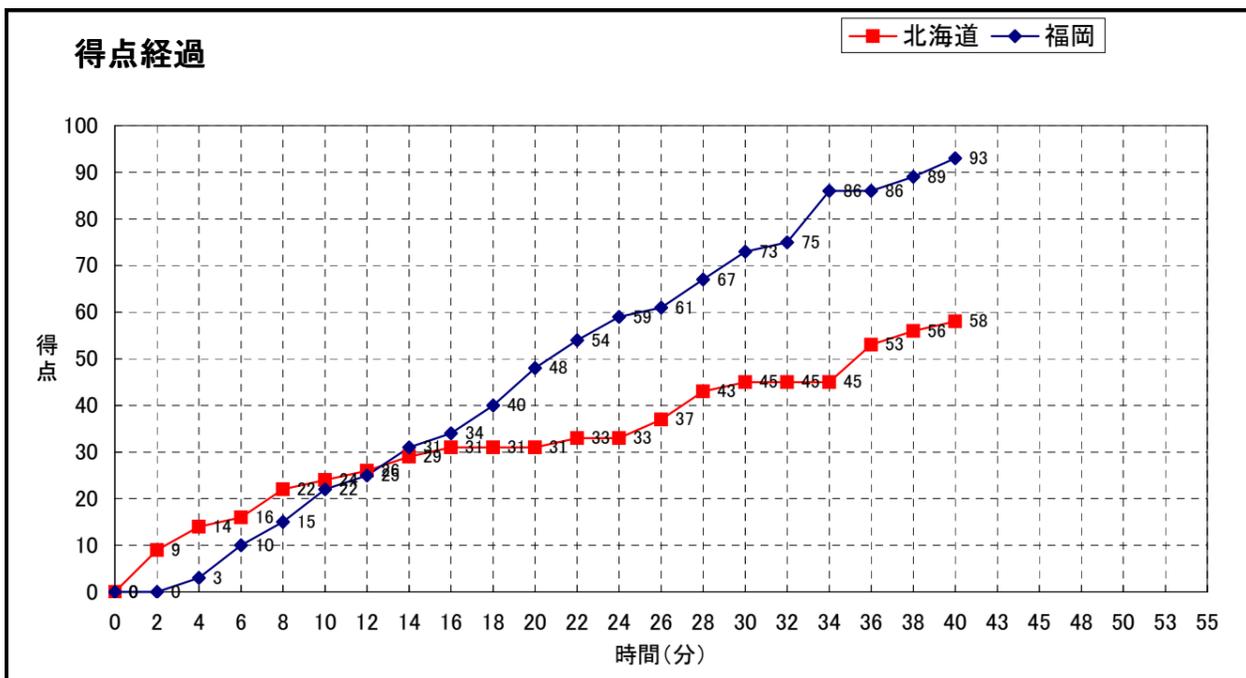
開始時間: 10:00

副審: 東 祐二

終了時間: 11:21

福岡		93					●		58					北海道	
(九州)									(北海道)						
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		本郷 宏	1	0	0	1	3	4	*	義達 智	25	3	7	2	4
5	*	笛田 英樹	4	0	2	0	0	5	*	片桐 圭裕	0	0	0	0	3
6		野中 俊郎	7	1	2	0	1	6	*	広瀬 慎一	2	0	1	0	3
7		小林 将二	3	1	0	0	1	7	*	後藤 崇	20	0	9	2	2
8		平井 崇士	0	0	0	0	1	8	*	片山 貴雄	5	0	2	1	2
9		楠本 祐介	7	1	1	2	0	9		込山 覚徳	3	1	0	0	0
10		西尾 晋太郎	0	0	0	0	0	10		宮腰 裕一	3	1	0	0	0
11	*	伊藤 孝志	7	1	2	0	1	11		大西 弘太郎	0	0	0	0	1
12	*	加納 督大	18	3	2	5	1	12		大塚 隆広	0	0	0	0	1
13	*	千々岩 利幸	24	6	2	2	2	13		山本 洋平	0	0	0	0	0
14	*	中園 隆一郎	18	2	5	2	1	14		竹中 克守	0	0	0	0	4
15		上野 真一郎	4	0	2	0	0	15		牧 佑一	0	0	0	0	0
コーチ		美山 泰夫						コーチ		坂井 良昭					
合計			93	15	18	12	11	合計			58	5	19	5	20

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。開始早々、福岡のディフェンスの一瞬の隙をつき、北海道#4義達がドライブインで先制。北海道は#6広瀬、#4義達の3Pシュートなどで連続得点を重ね、開始2分、9-0と一気にリードする。対する福岡は#11伊藤を中心にインサイドから得点を狙うが得点できない。北海道はその後#4義達、#7後藤が加点するが福岡も#13千々岩が3Pシュートを決めると、#12加納、#6野中が連続して3Pシュートを決め残り20秒、20-20の同点とする。しかし北海道も終了間際#7後藤がシュートを決め24-22と北海道リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、開始直後、福岡は#13千々岩の3Pシュートで逆転。残り5分まで一進一退の攻防が続くが、残り4分から福岡は#13千々岩、#9楠本の4連続3Pシュートで一気にリードする。北海道はシュートを狙うが思うように得点できず48-31と福岡リードで前半を終了。

第3ピリオド、開始から福岡#14中園が連続得点。その後もリバウンドからの速攻で加点。北海道も反撃するが、なかなか点差は縮まらない。福岡は速攻とドライブインなどで加点し、73-45とリードを広げ第3ピリオド終了。

第4ピリオド、開始2分間は両チーム無得点。しかし福岡はディフェンスからリズムを作り、リバウンドとスチールから連続で速攻を決め、さらにリードを広げる。残り4分両チーム加点するが点差は変わらず、93-58で福岡が第21回大会以来40年ぶり4回目の優勝を飾った。

担当者: 内海 善議(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会